

令和 5 年度 加平小学校算数習熟指導計画

1 目的

本計画は、算数科における学力定着を意図的・計画的に推進するために定めるものである。

2 実施範囲

全学年

3 実施方法

算数科習熟度指導担当(算数科担当)を中心に各学級担任と連携しながら行っていく。

3 学級を 4 展開で実施する。

4 具体的な流れ

各学級において、新たな単元に入る前に「レディネステスト」を実施する。実施結果を学年のまとまりで考察し、習熟の程度に応じて 4 つの集団を構成する。

4 つの集団は人数均等割りとせず習熟の程度が十分でない集団の人数を可能な限り少なくする。

5 算数科担当の役割

算数科担当者は、各学年担当の教諭の助言を得ながら 4 つ集団の指導者を決める。習熟の程度別に指導者を固定することはしない。

算数科担当者

第 1 学年・第 2 学年 講師対応

第 3 学年から第 6 学年 算数科担当

- ・算数科担当者は各学級担任と指導方針や指導法について共通理解を図る。
- ・算数科担当を中心に週ごとの指導計画を作成する際に進捗等、指導状況を把握する。
- ・算数科担当は日常の学習進度・習得状況を把握しながら児童一人一人の習熟に応じたきめ細かい指導・支援方法を提案する。

6 各担任の役割

各担任は、算数科担当者の助言を得ながら日常の学習を展開するが、学年会において学習進度の確認や指導上の課題等について情報を共有するとともに、学年主任は積極的に学習の進捗を算数科担当に伝える。

7 進捗管理全般

- ・必要であれば指導者の役割を変更したり、児童の集団の構成を変更したりすることも検討する。